

■中根元圭 和算家・天文家。漢書通じ西洋暦学紹介し、晩年、将軍吉宗の諮問に応じた。博覧強記で音楽理論にまで及んだ。

なかねげんけい

松平信綱没・1662＝ 近江国浅井郡八木浜村で、医者中根定秀の次男に生まれる。

酒井忠清大老1666＝ 4歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1671＝ 9歳：

徳川綱吉将軍1680＝18歳：

京都白山に住み、和算家田中由真の門に学んだ後、

堀田正俊暗殺1684＝22歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1689＝27歳：

世間胸算用・1692＝30歳：「律原發揮」、
奥の細道・・1693＝31歳：*「新撰古暦便覧」成る、

生類憐令頂点1695＝33歳：
重秀勘定奉行1696＝34歳：（跋に、元圭は'博学強記、最精暦算、著述甚富'とある）_「三正俗解」成る。

吉保大老格・1698＝36歳：

富士宝永噴火1707＝45歳：*「授時暦図解發揮」、

徳川綱吉没・1709＝47歳：

冥途の飛脚・1711＝49歳：京都銀座の役人となる。

若い頃より、暦学、数学、楽律、漢学に造詣が深く、啓蒙書を含む著書、注解書の他、潭天儀なども作っている。京都白山に長く住んだので、白山先生とも呼ばれていたが、

徳川吉宗将軍1716＝54歳：

御蔭参流行・1718＝56歳：この年、幕府が暦本の私製版行を禁じるが、授時暦をもとに白山暦を作り、
・ ・ ・ ・ ・ 1719＝57歳：師田中由真が死去。_「新撰古暦便覧」を刊行。

小石川薬園・1721＝59歳：*自分より若い関流建部賢弘に推挙され、改暦に興味を持つ将軍吉宗に召されて暦学の諮問に応じ、

「有徳院殿御実記」付録第八には、厳禁のイエズス会士系の西洋天文書の輸入を進言し、暦算書のみは許されるようになったとある。

・ ・ ・ ・ ・ 1725＝63歳：
懷徳堂公認・1726＝64歳：_梅文鼎の「暦算全書」に訓点を施すよう命じられ、
・ ・ ・ ・ ・ 1727＝65歳：十人扶持。「八線表算法解義」「没減俗解」、
徂徠没・・・1728＝66歳：建部賢弘の「累約術」を刪定、

享保大飢饉・1732＝70歳：「新撰古暦便覧」。_貞享暦の差異を補うため、伊豆下田と江戸深川で、太陽および月の観測を行なう（その結果は「日月高測」に述べられている）。

・ ・ ・ ・ ・ 1733＝71歳：*「暦算全書」訓点を完成して、没した。
ほかに「七乗幕演式」「異体字弁」「天文図解読發揮」「答蹄集」「皇和通暦」「索術」「累約拾遺」「律襲暦」「推演算法」「授時暦経俗解」「測量三遊儀」「時刻論」「火星負減考」など。